

「第2期会津若松市子ども・子育て支援事業計画(案) について」への意見募集結果報告

募集方法及び結果は下記の通りです。

- 1 募集期間 令和元年11月27日(水)～令和元年12月27日(金)
- 2 提出方法 メールによる提出(1件)
- 3 意見件数 4件(1人)
- 4 意見の要旨と市の考え方

No.	意見の内容	市の考え方
1	<p>子どもの交通安全を確保するための活動の推進(24ページ、第4章)について</p> <p>今年、県外で保育所の子どもが死傷する交通事故があったが、本市でこのようなことが起きてほしくはない。</p> <p>例えば、通学路安全推進事業で、保育所等における集団的移動経路も点検の対象とする等、交通安全の確保に取り組んでもらいたい。</p>	<p>各教育・保育施設等においては、日頃より散歩等の外出の際は、移動経路の事前確認等を行いながら活動を行っています。</p> <p>令和元年度に保育施設等における集団で移動する経路の点検を実施し、関係機関と対策等を協議したところであり、今後とも、安心して屋外保育活動ができるよう、関係機関と連携し、安全確保に努めてまいります。</p>
2	<p>民生児童委員協議会(45ページ、第4章)について</p> <p>本事業の事業概要に「地域における身近な相談者としての認知度を高め、相談しやすい環境整備を図り…」とあるが、具体的な取組があれば教えてほしい。</p> <p>10ページの「気軽に相談できる先」として「民生児童委員」が1%未満と低い値である。</p> <p>認知度を高めるための具体的な取組がなければ、意欲ある民生児童委員の確保が困難になってしまうのではないかと心配である。</p>	<p>民生委員・児童委員啓発活動として以下の取組を行っています。</p> <p>○「一日民生委員」街頭キャンペーン:民生委員・児童委員活動強化週間に、市長、議長、区長会長、社会福祉協議会会長等が「一日民生委員」として市民へPRチラシや啓発グッズを配布しました。</p> <p>○子育て支援協力:主任児童委員が乳幼児健診や赤ちゃん交流広場等にて保護者の手伝いを行い、PRチラシや啓発グッズを配布しました。</p> <p>このほか、地域の各種行事への参加、協力として、小中学校との交流会、夏まつり及び敬老会等の行事に協力し、民生委員・児童委員の活動への理解が深まるよう取り組んでおり、引き続き、市民の皆様から認知されるよう努めてまいります。</p>

3	<p>教育・保育及び地域型保育の「量の見込み」と「確保方策等」(55～56 ページ、第5章) について</p> <p>本市の教育・保育施設等は、それぞれ特色ある教育・保育を実施しており、本市の貴重な財産だと思う。</p> <p>各施設には、今後の子どもの減少にも適切に対応してもらいたい観点から、量の見込みを基準に確保方策が調整されるよう、市は各施設の定員の見直しについて指導してもらいたい。</p>	<p>入所状況等を見極めながら、確保方策（定員等）について、適宜、施設側と協議してまいります。</p>
4	<p>本計画策定後について</p> <p>本計画の目標を達成するためには、本市だけでなく、関係者の理解と協力が必要である。そのため、本計画策定後は、関係者に計画を周知し、本市の思い（熱意）を伝えてほしい。</p>	<p>計画書及び概要版の関係機関への配付、各窓口での掲出、ホームページ掲載等により、本計画及び子育て支援策の周知・普及に努めるとともに、市民の皆様をはじめ関係機関と連携し、地域ぐるみでの子育て支援に取り組んでまいります。</p>